



ワークフロー操作URL リファレンスガイド ArcSuite 4.0

はじめに

このたびは富士フイルムビジネスイノベーションのArcSuite®をご利用いただき、まことにありがとうございます。

一般に、企業活動では、各業務に関する情報はさまざまな形態のドキュメントとして存在しています。ここでいうドキュメントとは、紙に書かれた文書だけを示す狭義のものではありません。紙はもちろんのこと、ホワイトボードに書かれた文字や図表、プロジェクターやテレビに映し出された映像などを含む広義なものを指します。

ドキュメントは一般に、ひとりの手で作成されるものではなく、複数の人の意見交換や討議を経て作成されます。単純な作業や複雑な計算はコンピューターに委ねられ、あらゆる分野でさまざまなソリューションが展開されていますが、ドキュメントの作成では一般に人が中心なのです。

ArcSuiteは、「ドキュメント」に着目して「人」と「人」をつなぎ、「ドキュメント指向」のソリューション・パッケージです。ArcSuiteをご利用いただくことによって、さまざまなコンピューターシステムを統合したうえでのドキュメントの共有や管理が可能になります。

お使いの商品構成によって、次の機能が標準で提供されないことがあります。

コラボスペース、ドキュメントレビューオプション、ワークフロー、分類ビュー、関連文書検索サービス、原本性保証オプション、キャプチャリングサービス、統合検索サービス、オンラインバックアップオプション、ドキュメント一括操作ツール、連携フォルダ for DocuWorks、連携オプション for Working Folder

本書の内容は、Microsoft Windows Operating System、およびWebブラウザの基本的な知識や操作方法を習得されているかたを対象として記述しています。

Excel、Microsoft、Windows、およびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Xerox、Xeroxロゴ、およびFuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

その他の社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

ご注意

- ・ 本書の編集、変更、または無断での転載はしないでください。
- ・ 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本書に記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

ArcSuite、およびDocuWorksは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

著作権について

本ソフトウェア、およびバックアップのために複製されたソフトウェアに関する著作権等を含む一切の無体財産権は、弊社および弊社への供給者に帰属します。

(c) 2002-2021 FUJIFILM Business Innovation Corp.

マニュアル体系

ArcSuiteには、次のマニュアルおよびヘルプがあります。

マニュアルは、PDFファイルまたはヘルプの形式で提供しています。

主なマニュアルは、『ポータル画面のヘルプ』から参照できます。『ポータル画面のヘルプ』は、Webブラウザの操作画面にある「ヘルプ」から表示できます。

補足 お使いの商品構成によっては、提供されない機能の説明がマニュアルに含まれることがあります。

■ 管理者ユーザー向け

名称	概要
セットアップガイド	本製品全体のセットアップ方法について説明しています。
システム管理者ガイド	リソース管理サービスの概要、機能、管理操作を行うコマンドについて説明しています。また、本製品の運用に必要な管理作業について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理者ガイド	ドキュメント管理サービスの概要、機能、および管理操作を行うコマンドについて説明しています。
ドキュメント管理サービス管理アプリケーション デスクトップ版のヘルプ	サーバーで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理アプリケーション Web版のヘルプ	クライアントPCで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
オフラインバックアップ・リストア運用ガイド	オフラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。
リソース管理アプリケーションのヘルプ	ユーザー、グループ、ユーザーロールの追加、およびライセンスの編集、検索について説明しています。
ログインサーバー管理アプリケーションのヘルプ	ログインサーバーでの認証モードの設定について説明しています。
メッセージ通知管理アプリケーションのヘルプ	メッセージ通知サーバーの設定、メッセージのプール管理、メッセージテンプレートの設定について説明しています。
ポータル管理アプリケーションのヘルプ	ユーザープロフィールに表示する項目の設定、お知らせの設定について説明しています。
ドキュメントスペース管理アプリケーションのヘルプ	属性テンプレートや表示する属性の設定、表示するボタンの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。
表示アプリケーション管理ツールのヘルプ	表示アプリケーションのテンプレート、システム環境の設定について説明しています。
ログ管理アプリケーションのヘルプ	ログを表示する機能、ログを取得する機能、および保守情報を一括で取得する機能について説明しています。

名称	概要
監視ツールのヘルプ	ArcSuiteのコンポーネントにアクセスしているユーザー、データベースの状態、およびセッションの状態を監視する機能について説明しています。
ドキュメントスペースドキュメント操作URLリファレンスガイド	ドキュメントスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
オンラインバックアップ・リストア運用ガイド	オンラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。
e-文書法対応 概要説明書	e-文書法対応の概要および原本性保証オプションの機能について説明しています。
コラボスペース管理アプリケーションのヘルプ	コラボスペースのメールの設定、ログの設定、およびタスクやメッセージの用語をカスタマイズする設定について説明しています。
ワークフロー管理アプリケーションのヘルプ	ワークフロー定義または起動テンプレートの作成者および公開者の設定、ログの設定、外部コマンドの設定について説明しています。
キャプチャリング管理アプリケーションのヘルプ	キャプチャリングサービスの監視キューに対する操作について説明しています。
統合検索サービス管理アプリケーションのヘルプ	統合検索サービスのリソースの設定、収集スケジュールの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。
コラボスペースタスク操作URLリファレンスガイド	コラボスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
ワークフロー操作URLリファレンスガイド (本書)	ワークフローの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
Webサービスインターフェイスリファレンスガイド	ArcSuiteの機能にSOAPを使用して接続するAPIについて説明しています。
ドキュメント管理サービスSDKリファレンスガイド	ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。
コラボスペースInterface Toolkitリファレンスガイド	コラボスペースのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。
ワークフロー Interface Toolkitリファレンスガイド	ワークフローのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。

■ クライアントユーザー向け

名称	概要
ポータル画面のヘルプ	ポータル画面で、お気に入りの編集、ユーザープロフィールを変更する操作について説明しています。 Webブラウザの操作画面にある【ヘルプ】から参照してください。
アドレス帳のヘルプ	アドレス帳で、ユーザー、グループ、ユーザーロール、およびタスクを検索する操作について説明しています。
ドキュメントスペースのヘルプ	ドキュメントスペースで、登録、属性の変更、検索などのドキュメントを管理する機能の操作について説明しています。
表示アプリケーションのヘルプ	表示アプリケーションで、ブラウザーイメージ変換された画像を編集する操作、およびユーザー設定について説明しています。
検索条件式のヘルプ	ドキュメントスペースの詳細検索で、全文検索または属性検索の条件式をXMLで指定するときの記述方法について説明しています。

名称	概要
簡易操作のヘルプ	簡易操作画面でドキュメントを管理する機能の操作、および操作画面の設定方法について説明しています。
コラボスペースのヘルプ	コラボスペースで、タスクの作成、メッセージの登録、および検索などの操作について説明しています。
ワークフローのヘルプ	ワークフローで、ワークフロー定義の作成、公開および起動する操作、作業を実行する操作について説明しています。
ドキュメント一括操作ツール説明書	Microsoft Excelを使って、ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理する操作について説明しています。
デスクトップクライアント セットアップガイド	デスクトップクライアントのセットアップ方法について説明しています。
デスクトップクライアント 操作説明書	デスクトップクライアントで、ドキュメント管理サービスのフォルダーやドキュメントにアクセスする操作方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorks セットアップガイド	連携フォルダ for DocuWorksのセットアップ方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorksの ヘルプ（*1）	DocuWorks Deskで、ArcSuiteに登録されているドキュメントを操作する方法について説明しています。

* 1: 連携フォルダ for DocuWorks をインストールした DocuWorks Desk のヘルプから参照してください。

本書の使い方

本書は、ArcSuiteをより効果的にご活用いただくことを目的として、ArcSuiteのワークフロー操作URLの概要やインターフェイスを説明しています。

ワークフロー操作URLを使用するときに、本書をお読みください。

■ 本書の構成

本書は、次の章から構成されています。

[1 ワークフロー操作 URL の概要](#)

ワークフロー操作URLの概要について説明しています。

[2 引数の表記方法](#)

ワークフロー操作URLで使用するデータについて詳細に説明しています。

[3 インターフェイスの詳細](#)

ワークフロー操作URL各インターフェイスについて詳細に説明しています。

■ 本書の表記

- ・ 本書では、次の記号を使用しています。

< > キー	キーボードのキーを表します。 例：<Enter>キーを押します。
[]	画面に表示されるメニュー、ボタン、項目を表します。 例：[新規作成] をクリックします。
[]	同一マニュアル内の参照箇所を表します。 また、強調する用語やメッセージも表します。 例：「1 概要」 「名前が指定されていません。」と表示されます。
『 』	参照するマニュアルの名前を表します。 例：『システム管理者ガイド』
{ }	ユーザー名やサーバー名など、操作時に変わる値を表します。 例：[{ユーザー名}] をクリックします。
>	メニューやWebページの階層を表します。 例：[システムとセキュリティ] > [管理ツール]
注 記	一般的な注意事項を表します。
補 足	機能や操作に関する補足説明を表します。
参 照	参照する事項があることを表します。
<u> </u>	参照先タイトルやページへのリンクがあることを表します。 例： 「1 概要」 (P.6)

- ・ Microsoft Windows Operating System を「Windows」と表記しています。
- ・ パーソナルコンピュータを「PC」と表記しています。
- ・ お使いの環境によって、マニュアルに記載の画面と実際の画面が異なることがあります。
- ・ 特に表記がない場合の製品のバージョン番号は「4.0」です。

目次

1 ワークフロー操作URLの概要

1.1	概要.....	9
	一覧表示	9
	オブジェクト表示.....	9
	起動フォーム表示.....	9
1.2	インストール方法	10
1.3	操作上の注意点.....	11
	ライセンスチェック、アクセス権に対する注意	11
	サイト依存情報に対する注意	11
	画面の機能.....	11
	URL のエンコード	11
	[閉じる]	11
	長い URL についての注意.....	11

2 引数の表記方法

2.1	引数の表記方法.....	13
-----	--------------	----

3 インターフェイスの詳細

3.1	共通ユーザーインターフェイス.....	15
	エラー画面.....	15
	[ログイン] 画面	15
3.2	URL インターフェイス	16
	パス.....	16
	引数形式	16
3.3	一覧表示.....	18
	パス.....	18
	引数形式 1	18
	引数形式 2	18
	引数形式 3	19
	引数形式 4.....	20
3.4	オブジェクト表示	21
	パス.....	21
	引数形式 1	21
	引数形式 2	22
	引数形式 3	22
3.5	起動フォーム表示	23
	パス.....	23
	引数形式 1	23
	引数形式 2	24



1 ワークフロー操作URLの概要

ワークフロー操作URLは、アプリケーション開発者向けに用意されたURLです。ワークフローの機能を利用するためのインターフェイスとなります。

1.1 概要

ワークフロー操作URLとは、ワークフローの機能を特定のURLとして、SEやサードベンダーなどのアプリケーション開発者向けに提供するものです。このURLを利用して、ワークフローの各アプリケーションの機能にリクエストを送れます。

ユーザーがWebブラウザでURLを呼び出すと、URLは引数を解釈するなどの必要な前処理を実行後、適切なアプリケーションにリクエストを転送します。アプリケーションはユーザーのリクエストに対応する画面を表示するためのWebページを返し、Webブラウザはこれを表示します。

ここでは、ワークフロー操作URLを使って利用できる機能の概要について説明します。

参照 ワークフロー操作 URL の詳細については、[「3 インターフェイスの詳細」\(P.14\)](#) を参照してください。

一覧表示

作業、案件、ワークフロー定義、起動テンプレート、およびユーザーの一覧を表示する画面を表示します。

オブジェクト表示

作業、案件の画面を表示します。

起動フォーム表示

起動フォームを表示します。

1.2 インストール方法

ワークフロー操作URLは、ワークフローのインストールと同時にインストールされます。

参照 ワークフローのインストール方法については、『セットアップガイド』を参照してください。

1.3 操作上の注意点

ワークフロー操作URLの効率的な使い方、主なエラーの対処方法について説明します。

ライセンスチェック、アクセス権に対する注意

開発者と使用者が異なる場合や、両者の権利が異なる場合には、開発時に動作した機能が、使用者によっては動作しないことがあります。また、メールにワークフロー操作URLを記述して送信する場合も、送り手と受け手の権利が異なると同様の状況になります。

そのため、各アプリケーションのライセンスとアクセス権を確認してください。開発者は使用者の環境で開発する必要があります。

サイト依存情報に対する注意

引数として使用するアクションID、作業ID、案件ID、定義ID、定義名、および属性値は、すべてサイトに依存する情報です。ワークフロー操作URLは、これらの情報を取得しません。

画面の機能

ワークフロー操作URLで表示される画面は、本文中に示した各アプリケーションの機能です。ワークフロー操作URLの機能ではありません。

参照 各画面の機能については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

URL のエンコード

使用するURLは、仕様『RFC2396』に沿ってエンコードをする必要があります。

[閉じる]

ワークフロー操作URLで表示される画面の中にある [閉じる] をクリックすると、Webブラウザが終了します。これはワークフローの仕様です。

長い URL についての注意

ワークフロー操作URLは、GETおよびPOSTでのqueryをサポートしています。しかし、長いqueryはGETで送信すると、そのURLの文字列が途中で切れてしまいます。



2 引数の表記方法

ワークフロー操作URLでは、引数を指定して各アプリケーションの機能にリクエストを送ります。

この章では、ワークフロー操作URLで使用する引数の表記方法について説明します。

2.1 引数の表記方法

引数の表記方法は、次のとおりです。なお、定数文字列は、大文字、小文字に関係なく解釈されます。

補足 作業 ID および案件 ID などの番号は、実際に作業および案件の基本属性画面を表示して確認してください。

表：引数の表記方法一覧

型	説明
アクション ID	アクションを特定するための識別子。正整数
作業 ID	作業を特定するための識別子。正整数
案件 ID	案件を特定するための識別子。正整数
定義 ID	ワークフロー定義または起動テンプレートを特定するための識別子。正整数
定義名	ワークフロー定義または起動テンプレートを特定するための名前。
属性値	ドキュメント型以外の属性の値。属性の型により、表現が異なる。設定する値は、入力文字列の書式として扱われる。
オブジェクト ID	ドキュメント型属性の値。



3 インターフェイスの詳細

ワークフロー操作URLの共通ユーザーインターフェイス、および各URLインターフェイスの詳細について説明します。

3.1 共通ユーザーインターフェイス

ワークフロー操作URLには、次の2つの共通ユーザーインターフェイスがあります。

エラー画面

エラー発生時に、エラーメッセージを表示する画面です。

エラー画面の動作はワークフローに準じます。

[ログイン] 画面

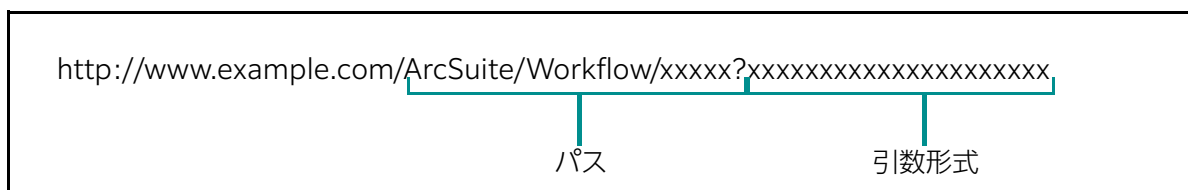
未認証のユーザーがURLを呼び出したときに表示される画面です。

認証を行うには、この画面でユーザー名とパスワードを入力します。

認証後、呼び出したURLが実行されます。

3.2 URL インターフェイス

URLインターフェイスは、パスと引数群で構成されます。引数群には、複数の引数形式（引数の記述形式）のものがあります。パスと引数形式は"?"で連結された構成となっています。



ここでは、URLインターフェイスの共通事項として、パスと引数形式について説明します。

3.3節以降に、各URLインターフェイスの詳細を示します。

パス

インターフェイスとなるパスを記述します。

パスを用いたワークフロー操作URLの利用方法は、次の3つです。

- ・パスを通常の URL と同様に Web ブラウザーのアドレスバーに記述する方法
- ・パスをユーザーシステムの Web ページの中にリンクとして記述し、このリンクをクリックする方法
- ・パスをユーザーシステムの Web ページの中にフォームとして記述し、このフォームをサブミットする方法

補足 パス内の「ArcSuite」の部分はサイトに依存します。運用先のサイトに合わせて適切な名前に置き換えてください。

引数形式

URLインターフェイスの引数形式を記述します。

共通の動作を次に示します。

- ・説明は、GET の形態で記述しています。POST の場合は、引数形式に対応するフォームの要素を作成してください。
- ・同じ URL に複数の引数形式がある場合には、引数形式 1、引数形式 2 という具合に引数形式ごとに記述します。ユーザーが、引数形式 1 と引数形式 2 を混在して指定した場合、引数形式番号のより小さい方の引数形式が優先されます。引数形式番号の判定は、引数形式の第 1 必須の引数（引数の表中一番上の行）があるかどうかで判定します。第 1 必須の引数で判断できない場合には、第 2、第 3 と引数をチェックします。第 1 必須の引数の引数名を間違えたなど、どの引数形式とも判断できない場合、エラーとし usage を表示します。
- ・引数形式にない引数名を指定した場合は無視されます。エラーにはなりません。
- ・各引数の順序は順不同です。断りのない限り、どの順序で指定してもかまいません。

例

引数形式の例を示します。ホスト名（www.example.com）、プロダクト名（ArcSuite）はサイトに依存します。適切な名前に読み換えてください。

引数

引数形式の中で指定できる各引数を表に示します。項目の詳細は次のとおりです。

◆ 名前

引数の名前を示します。

◆ 説明

引数の説明を示します。

◆ 型

引数の型を示します。URLでの表記なので基本的にすべて文字列で表示されます。

参照 型の詳細については、[「2.1 引数の表記方法」\(P.13\)](#)を参照してください。

◆ 単 / 多

引数が単値か多値かを示します。多値となっているものは、複数指定できます。
たとえば、引数aが多値の場合には、a=1&a=2&a=3と記述します。

◆ 必須

○が記述されている引数は、必須の項目です。

◆ デフォルト

引数が省略された場合の初期値です。

◆ 列挙値

引数が列挙される（とり得る値をすべて列挙できる）場合の値です。

■ エラー

発生するエラーを示します。括弧の中の数字はエラーのメッセージ番号を示します。

3.3 一覧表示

作業、案件、ワークフロー定義、起動テンプレート、およびユーザーの一覧を表示する画面を表示します。

パス

```
/ArcSuite/workflow/objectList.do
```

引数形式 1

作業の一覧を表示します。

```
type=activity&status= {status1} &manage= {manage1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/workflow/objectList.do?type=activity&status=open
（「作業一覧」画面の「担当作業」タブを開きます。）

http://www.example.com/ArcSuite/workflow/objectList.do?type=activity&status=closed
（「作業一覧」画面の「完了した作業」タブを開きます。）

http://www.example.com/ArcSuite/workflow/objectList.do?type=activity&status=open&manage=true
（「進捗管理」画面の「未完了の作業」タブを開きます。）
```

■ 引数

表：一覧表示の引数形式で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
type	表示対象のタイプ	列挙値	単	○		activity
status	表示対象の状態	列挙値	単	○		open closed
manage	「進捗管理」画面の指定	列挙値	単		false	true false

manageの指定は、statusに「open」を指定した場合のみ有効です。statusに「closed」を指定した場合は、manageを指定しても無視されます。

manageの値（「true」「false」）は、大文字、小文字を区別しません。

引数形式 2

案件の一覧を表示します。

```
type=process&status= {status1} &manage= {manage1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/workflow/objectList.do?type=process&status=open
（「案件一覧」画面の「未完了の案件」タブを開きます。）

http://www.example.com/ArcSuite/workflow/
objectList.do?type=process&status=closed
（「案件一覧」画面の「完了した案件」タブを開きます。）

http://www.example.com/ArcSuite/workflow/objectList.do?type=process&status=open&
manage=true
（「進捗管理」画面の「未完了の案件」タブを開きます。）

http://www.example.com/ArcSuite/workflow/
objectList.do?type=process&status=closed&
manage=true
（「進捗管理」画面の「完了した案件」タブを開きます。）
```

■ 引数

表：一覧表示の引数形式で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
type	表示対象のタイプ	列挙値	単	○		process
status	表示対象の状態	列挙値	単	○		open closed
manage	「進捗管理」画面の指定	列挙値	単		false	true false

manageの値（「true」「false」）は、大文字、小文字を区別しません。

引数形式 3

ワークフロー定義と起動テンプレートの一覧を表示します。

```
type=definition&region= {region1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/workflow/
objectList.do?type=definition&region=public
（「ワークフロー定義管理」画面の「共用定義」タブを開きます。）

http://www.example.com/ArcSuite/workflow/
objectList.do?type=definition&region=private
（「ワークフロー定義管理」画面の「個人用定義」タブを開きます。）
```

■ 引数

表：一覧表示の引数形式で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
type	表示対象のタイプ	列挙値	単	○		definition
region	表示対象の格納領域	列挙値	単	○		public private

引数形式 4

代行対象者、あるいは進捗管理対象者に割り当てられている作業の状況一覧を表示します。

```
type=user&relation= {relation1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/workflow/
objectList.do?type=user&relation=delegator
（「作業一覧」画面の「代行作業」タブを開きます。）
```

```
http://www.example.com/ArcSuite/workflow/objectList.do?type=user&relation=
progressManaged
（「進捗管理」画面の「作業担当者の状況一覧」タブを開きます。）
```

■ 引数

表：一覧表示の引数形式で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
type	表示対象のタイプ	列挙値	単	○		user
relation	表示対象との関係	列挙値	単	○		delegator progressManaged

3.4 オブジェクト表示

作業、案件の画面を表示します。

パス

```
/ArcSuite/workflow/open.do
```

引数形式 1

アクションIDを指定して、「作業」画面を表示します。表示するときに、「フォーム」を開くか、「基本属性」タブを開くかを指定できます。

アクションとは、各作業の実行履歴に相当するオブジェクトです。作業が実行されるたびに、新しいアクションが作られます。アクションIDを指定した場合は、該当する作業の該当する作業履歴が表示されます。

アクションIDは、一般的な操作で参照することはできません。アクションIDを取得することができるのは、次の場合です。

「作業完了」コマンドを実行し、正常終了した場合、完了したアクティビティのアクションIDが表示されます。

「属性設定」アクティビティや、「外部コマンド」アクティビティなどのパラメーターで、`${@:ID}`という式を記述した場合、その式を評価した結果は、その時点でのアクションのアクションIDが返されます。

```
type=activity&actionId= {actionId1} &mode= {mode1}
```

例

```
http://www.example.com/ArcSuite/workflow/open.do?type=activity&actionId=102  
(「作業」画面の「フォーム」タブを開きます。)
```

```
http://www.example.com/ArcSuite/workflow/  
open.do?type=activity&actionId=102&mode=  
attribute  
(「作業」画面の「基本属性」タブを開きます。)
```

引数

表:オブジェクト表示の引数形式で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
type	表示対象のタイプ	列挙値	単	○		activity
actionId	表示対象のアクション	アクションID	単	○		
mode	表示時のモード	列挙値	単		form	form attribute

引数形式 2

作業IDを指定して、最新のアクションの「作業」画面を表示します。表示するときに、「フォーム」タブを開くか、「基本属性」タブを開くかを指定できます。

```
type=activity&activityId= {activityId1} &mode= {mode1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/workflow/open.do?type=activity&activityId=101
（最新のアクションの、「作業」画面の「フォーム」タブを開きます。）

http://www.example.com/ArcSuite/workflow/
open.do?type=activity&activityId=101&mode=
attribute
（最新のアクションの、「作業」画面の「基本属性」タブを開きます。）
```

■ 引数

表 :オブジェクト表示の引数形式で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
type	表示対象のタイプ	列挙値	単	○		activity
activityId	表示対象の作業ID	作業ID	単	○		
mode	表示時のモード	列挙値	単		form	form attribute

作業IDによって指定された作業がアクティブでない場合は、modeの指定に関わらず、「基本属性」タブを開きます。

引数形式 3

「案件表示」画面を表示します。

```
type=process&processId= {processId1}
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/workflow/open.do?type=process&processId=100
```

■ 引数

表 :オブジェクト表示の引数形式で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
type	表示対象のタイプ	列挙値	単	○		process
processId	表示対象の案件ID	案件ID	単	○		

3.5 起動フォーム表示

起動フォームを表示します。

パス

```
/ArcSuite/workflow/openStartForm.do
```

引数形式 1

定義IDにより、共用のワークフロー定義または起動テンプレートを指定して、起動フォームを表示します。表示するときに、起動フォームのフィールド値を指定できます。

```
definitionId= {definitionId1} &...
```

例

```
http://www.example.com/ArcSuite/workflow/
openStartForm.do?definitionId=90&@%95%B6%8
E%9A%97%F1_%91%BD%921=%95%B6%8E%9A%97%F1_%91%BD%921_1&doc1:mode=copy&enc=UTF-8
```

引数

表: 起動フォーム表示の引数形式で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
definitionId	定義ID	定義ID	単	○		
@属性表示名	属性の表示名。先頭に「@」を記述し、その後の「属性表示名」の部分に、実際の属性表示名を指定する。	属性値またはオブジェクトID (*1)	単または多 (*2)			
@属性表示名:mode (*3)	ドキュメント型の属性に関し、指定された文書をコピーするか、移動するか、の指定。「@属性表示名」の部分の書式は、上記と同様であり、その後に「:mode」を指定する。	列挙値	単		copy	copy (*4) move (*5) copyAndDelete (*6)
obsoleteResource	無効なリソース(RMS管理ツールで無効フラグがTRUEとなっているユーザー、グループ、ロール)が属性値に指定された場合の動作	列挙値	単		error	error ignore accept
enc	引数に指定する文字列の、文字コードを指定。たとえば、HTMLフォームを利用する場合は、そのファイルの文字コードを指定する。	列挙値	単		Windows-31J	UTF-8 Windows-31J ISO-8859-1 GB18030 Big5 KS_C_5601-1987

- * 1: @ 属性表示名の型は、次のように指定されます。
 - ・ドキュメント型以外の属性：属性値
 - ・ドキュメント型の属性：オブジェクト ID
- * 2: 単値の属性については「単」、多値の属性については「多」となります。
- * 3: 次の場合、@ 属性表示名 :mode の指定は無視されます。
 - ・ドキュメント型以外の属性を指定した場合
 - ・未指定のドキュメント型属性を指定した場合
- * 4: @ 属性表示名 :mode を指定しない場合、または値に「copy」を指定した場合は、指定した文書はコピーされます。
- * 5: @ 属性表示名 :mode の値に「move」を指定した場合においては、起動フォームを開いた時には、指定された文書はすでに移動されており、その後、起動フォームにおいてキャンセルを実行しても、元の場所には戻りません。
- * 6: @ 属性表示名 :mode の値に「copyAndDelete」を指定した場合においては、起動フォームを開いた時には、指定された文書はコピーされています。その後、起動操作を行った場合に、コピー元となったドキュメントが削除されます。起動フォームにおいてキャンセルを実行した場合は、コピー元のドキュメントは削除されません。

@属性表示名:modeの値に「copy」を指定する場合の、HTMLフォームによる例を次に記述します。

```
<form action="http://www.example.com/ArcSuite/workflow/openStartForm.do"
method="post" name="formName" target="_blank">

<input type="hidden" name="definitionId" value="1234">

<input type="hidden" name="@ 案件名 " value=" 案件名の値。">
<input type="hidden" name="@ 案件説明 " value=" 案件説明の値。">
<input type="hidden" name="@ 文書 1 " value="svc1:cab1:12345">
<input type="hidden" name="@ 文書 1 " value="svc1:cab1:23456">
<input type="hidden" name="@ 文書 1 :mode" value="copy">

<input type="submit" value=" 起動フォームを開く ">
</form>
```

obsoleteResourceの値に「error」を指定した場合は、無効なリソースが指定されるとエラーになります。「ignore」を指定した場合は、無効なリソースが指定されても指定されなかったとみなして処理を続けます。「accept」が指定された場合は、無効なリソースが指定された場合は無効フラグの設定に関わらず属性値として設定されます。

引数形式 2

定義名により、共用の、ワークフロー定義または起動テンプレートを指定して、起動フォームを表示します。表示するときに、起動フォームのフィールド値を指定できます。

```
definitionName= {definitionName1} &...
```

■ 例

```
http://www.example.com/ArcSuite/workflow/openStartForm.do?definitionName=051121-
%83e%83X%83g1&@%95%B6%8E%9A%97%F1_%91%BD%921=%95%B6%8E%9A%97%F1_%91%BD%921_1&doc
1:mode=copy&enc=UTF-8
```

■ 引数

表 : 起動フォーム表示の引数形式で使用する引数一覧

名前	説明	型	単/多	必須	デフォルト	列挙値
definitionName	定義名	定義名	単	○		
@属性表示名	属性の表示名。先頭に「@」を記述し、その後の「属性表示名」の部分に、実際の属性表示名を指定する。	属性値またはオブジェクト ID (*1)	単または多			
@属性表示名:mode	ドキュメント型の属性に関し、指定された文書をコピーするか、移動するか、の指定。 「@属性表示名」の部分の書式は、上記と同様であり、その後に「:mode」を指定する。	列挙値	単		copy	copy move copyAndDelete
obsoleteResource	無効なリソース（RMS管理ツールで無効フラグがTRUEとなっているユーザー、グループ、ロール）が属性値に指定された場合の動作	列挙値	単		error	error ignore accept
enc	引数に指定する文字列の、文字コードを指定。たとえば、HTMLフォームを利用する場合は、そのファイルの文字コードを指定する。	列挙値	単		Windows-31J	UTF-8 Windows-31J ISO-8859-1 GB18030 Big5 KS_C_5601-1987

* 1: @ 属性表示名の型は、次のように指定されます。

- ・ドキュメント型以外の属性：属性値
- ・ドキュメント型の属性：オブジェクト ID

次に、@属性表示名:modeの値に「copy」を指定する場合の、HTMLフォームによる例を記述します。

```
<form action="http://www.example.com/ArcSuite/workflow/openStartForm.do"
method="post" name="formName" target="_blank">

<input type="hidden" name="definitionName" value=" ワークフロー定義 1 ">

<input type="hidden" name="@ 案件名 " value=" 案件名の値。 ">
<input type="hidden" name="@ 案件説明 " value=" 案件説明の値。 ">
<input type="hidden" name="@ 文書 1 " value="svc1:cab1:12345">
<input type="hidden" name="@ 文書 1 " value="svc1:cab1:23456">
<input type="hidden" name="@ 文書 1 :mode" value="copy">

<input type="submit" value=" 起動フォームを開く ">
</form>
```